

マンスリー
MONTHLY
キョクトー

VOL.502

発行／極東産機株式会社 〒679-4195 たつの市龍野町日飼190 ☎(0791) 62-1771
 編集／極東産機(株)総務部 ホームページアドレス <http://www.kyokuto-sanki.co.jp>

高円宮妃殿下と当社ブースにて▶
(写真左は日装連 西浦光理事長)

高円宮妃殿下にラッピングβを
ご説明申し上げる頃安社長
(写真左はNIF 西田常務理事)



プレゼン中の頃安社長▶



JAPANTEX 2017
デジタルプリントエリア出展

You Can Do It!

— JAPANTEX 2017 デジタルプリントエリアにおける出展社プレゼン(要旨) —

代表取締役社長 頃安 雅樹

当社はJAPANTEXデジタルプリントエリアへの3年連続の出展となりました。今回のJAPANTEX2017における出展コンセプトは「You Can Do It!」です。当社の2年余のプリンティング事業の導入事例に基づいて、「デジタルプリントで何が出来るのか?」「Itとは何か?」その答えとなる具体的なビジネスチャンスの御提案を行います。そもそも当社は以下の3段階により事業を推進して参りました。

それぞれの段階における最近の導入事例を併せて紹介します。

【第一段階】以前から販売していたプリンティング後工程関連機器の販売

○ラミネート加工機「ラミスターKS-1400」の導入事例(看板業)

↓これまで外注していたラミネート加工を内作することにより、コスト削減と仕事の幅が広がった!

○壁紙糊付巻き取り装置「ラッピングβ」の導入事例(内装工事業)

↓一般消費者向けに、施工の容易な「生糊付壁紙」をネット販売することが可能になった!

【第二段階】インクジェットプリンターを導入し、自らもユーザーとなる

とともに、再販の権利を得て、プリンターの販売に乗り出す

○インクジェットプリンターの導入事例(内装材料店)

↓自社でプリンターを持つことにより、これまで受けられなかった仕事にも取り組み、ビジネスの幅が格段に広がった!

【第三段階】京都の友禅染の原図に由来する和柄コンテンツを入手して、

「いろはな」ブランドを立ち上げ、プリントした各種製品の販売と、コンテンツ自体のライセンスビジネスに乗り出す

○「いろはな」ロールスクリーンの導入事例(畳店)

↓自社のショールームの大きなガラス窓に内側から外に向けて和柄の鮮やかなロールスクリーンを配置、通行人の目を引くことが出来た!

○「いろはな」のライセンス契約の導入事例(カーテンショップ)

↓ライセンスを受けた「いろはなカーテン」の販売が好調で、「和モダンの斬新なテイストで雰囲気一変!」との評価で、同ショップがビジネス表彰を受けた!

以上、「プリンティングの後工程関連機器」「プリンター」の導入先、更

には「いろはな」製品の導入先、「いろはな」ライセンス契約先において、

それぞれの、そして様々な「It」が見つかっています。

ぜひぜひ「Yes, You Can!」を叫ぶ「Yes, We Can!」

●インテリア事業部門

見逃せない！好評実施中！

プラスワン&ペッカーキャンペーン

好評実施中の糊自動攪拌供給機「プラスワンシリーズ」並びに、床材剥がし機「ペッカーシリーズ」の各キャンペーンをご紹介します。

プラスワン(ダブル)キャンペーン

8月から販売を開始いたしました糊自動攪拌供給機「プラスワンIRON/AIアン」は、おかげさまで大変ご好評をいただいています。このプラスワンIRONの発売を記念して、同機を対象に、初めての購入でも、買い替えてもお得な「プラスワン(ダブル)キャンペーン」を今月末まで実施しています。

今が買い替えのチャンス！

下取りキャンペーン

【概要】

プラスワンIRONをご購入時にお手持ちのプラスワンシリーズを下取り致します。

◆はじめてのプラスワン！

応援キャンペーン

【概要】

プラスワンIRONをご購入時にお手持ちのプラスワンシリーズを下取り致します。

◆はじめてのプラスワン！

応援キャンペーン

【概要】

プラスワンIRONをご

購入いただくと、便利な関連商品を全4種類から1点プレゼント。

【サービス商品】

- 専用ハンドスイッチ×1箱
- βノリねろ×10個
- コマセバケツ角20L×2個
- ウォータータンク×2個

※下取りキャンペーンと応援キャンペーンの併用はできません。予めご了承ください。



キャンペーンの詳細はこちらのQRコードから

2017秋冬～2018早春のペッカーキャンペーン

その剥がし性能には多くの方から高い評価をいただいている超強力床材剥がし機「パワフルペッカー S.M.17」。同機の発売1周年を記念して、最新のペッカーシリーズを対象に、『2017秋冬～2018早春のペッカーキャンペーン』を平成30年3月末日まで実施しています。



対象製品等、キャンペーンの詳細はこちらのQRコードから

☆特典1
期間中ご購入いただいた対象製品1台につき専用替刃を1枚増量サービス。

☆特典2
さらにもう1枚、当該の専用替刃(タイル刃もしくはは強力刃)を増量サービス。

☆特典3
対象製品を一括購入の場合、刃研ぎ用グラインダ(マキタ デイスクグラインダ9539B)を1台進呈。

ハードペッカー	2台
パワフルペッカー	3台
その他の対象製品	5台

是非、この機会をお見逃しなく、販売あるいは購入をご検討下さい。

インテリア事業部門

主任 安井 雅樹

●インテリア事業部門

私も使っています！

自動壁紙糊付機『Hiβ・MASTER2メロウパール』

埼玉県川越市 小松内装店様に軽量自動壁紙糊付機『Hiβ・MASTER2メロウパール』の魅力をお聞きしました。

「取材の話が来てからすぐに散髪に行ってきたよ！」と快く取材をお受けいただき、良い写真も撮らせていただきました。



小松内装店 小松 豪様

●購入のきっかけは？

以前に使用していた糊付機「Prime S」を使用し始めて10年が経過した頃から経年劣化により買い替えの気持ちが強まりました。膝と腰を痛めていたので軽量タイプの糊付機が欲しくて『Hiβ・MASTER2』を検討していたところ、代

理店の担当営業から自動壁紙糊付機発売45周年記念限定モデル『Hiβ・MASTER2メロウパール』の案内があり購入しました。

●特に気に入っていただいた点は？

糊付機を持って階段の昇り降りをする事が多くて、とにかく軽い糊付機が欲しかった。今まで使っていた「Prime S」と比較してもすごく軽かった。色もメロウパールで好みの色でした。

●購入後の感想

スリッターの上下の刃物が一体型の為、壁紙の裁断幅の調整がとても楽になりました。また、切れ味が良くて突き付け施工でもジョイントがキレイにおさまっています。軽量タイプに惹かれて購入しましたが実際に使ってみるとスリッターの精度が上がっていて使いやすくなっている事に驚きました。思い切って買い替えで良かったです。

●当社への要望等

体の事を考えて軽量タイプを購入しましたがもっと軽くて丈夫で糊箱容量が多い糊付機を開発して欲しい。年齢を重ねた時に出来るだけ負担が少ない状況で作業できるようになればその分長く壁紙を貼れます。そんな糊付機が発売された時はまた購入します。

●その他

糊付機にマイホームに自動車購入のタイミングが重なりました。糊付機が新しくなって仕事に対するやる気も上がりました。今年の売上アップも『Hiβ・MASTER2メロウパール』のおかげと言っても過言でもありません。

小松内装店様にはご多忙の中、取材ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

北関東営業所

佐藤 大輔

● 豊事業部門 福岡県北九州市 有会社三ヶ森製畳様
ものづくり補助金活用「最新コンパクトライン導入」

福岡県北部に位置する、北九州市八幡西区で畳・襖・障子・網戸製造販売業を営まれている、(有)三ヶ森製畳様をご紹介します。



昭和35年に創業され、八幡西区を中心にお客様第一で、畳の仕上がりにごこだわりを持って製品を製造し、地域の信用を得て着実に売上を伸ばされています。

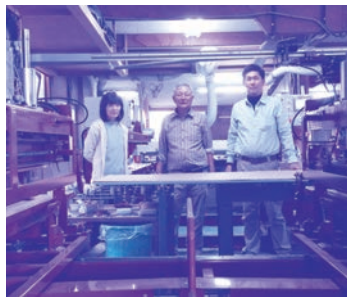
平成4年に地域でいち早くコンピュータ式畳製造システムを導入され、平成26年に老朽化のため最新の全自動両平刺機MASTERと曲針式両返縫機スイングPLUSSに入替えられました。

平成29年、お店の更なる発展の為に新規顧客層の開拓、独自性・独創性の発揮、生産効率アップを目標に「仕上りの美しい薄畳の生産性向上、及び若い世代への普及拡大」の事業計画をたてられ、「革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金」に採択されました。

この度、薄畳製造に関連がある、両框裁断機と直針式表張付両框縫機を最新の両框裁断機アドバンス、曲針式表張付自動両框縫機マックスに入替えられました。

アドバンスに関しては、小間中のクセが取れる事、刃物の交換なく

様々な床が裁断出来る事、マックスに関しては、薄畳でも縫いの深さが十分確保できる曲針ミシン仕様、2尺2寸までの寸法対応している点を特に気に入って使用していただいています。



この度はお忙しい中、取材にご協力いただき、誠にありがとうございます。今後とも益々のご発展をお祈り申し上げます。

豊事業部門 九州担当
 主任 谷口 靖典

● 豊事業部門 平成30年 開催決定！
「畳ふすま総合展示会」&「セミナー」

平成30年も全国各地で「畳ふすま総合展示会&セミナー」を開催致します。

毎年大好評の

★ふすま・障子・網戸張

替え講習会

★クロス・カーテン

初めて取扱勉強会

を今年も開催致します。

また、畳ふすま工具を特

価で販売致しますので、

当社とお取引のない畳店

様も是非ご来場くださ

い。

「畳ふすま総合展示会」

畳製造の経験が少ない

方でも均一な仕上りの

へり無畳が作れる「縁無

畳用表両折曲機なでし

こ」を初展示致します。

また、大人気のへり無

薄畳接着工法や最新畳ふ

すま機器の実演も行いま

す。最新鋭の畳縫着機械

の性能、生産効率の良さ

をご覧ください。

「繁盛店に学ぶ畳店経営」

セミナー

畳仕事大幅に減少して

仕事を増やす方法」は沢山あります。全国の繁盛畳店さんが実行されている内容を詳しく、ご紹介させていただきます。今すぐできることばかりですので、ぜひお聞きください。

「畳ふすま総合展示会」開催予定

福岡会場
 1月12日(金)・13日(土)・14日(日)

会場(福岡県久留米市)

「畳店様事例発表」

13日(土) 12時30分

(株)大山タタミ店

(沖縄県宜野湾市)

代表取締役

大山 竜児様



兵庫会場
 1月19日(金)・20日(土)・21日(日)

極東産機(株)島田研修センター

(兵庫県たつの市)

《畳店様事例発表》
 20日(土) 12時30分

「ものづくり補助金」

活用事例発表

(株)イマムラ(宮崎県宮崎市)

代表取締役社長

今村 公彦様



埼玉会場
 2月9日(金)・10日(土)・11日(日)

埼玉県南卸協同組合(埼玉県さいたま市)

愛知会場
 3月3日(土)・4日(日)

刈谷市産業振興センター(愛知県刈谷市)

詳しくは当社「はんじょうくんブログ」または、営業本部 豊事業部 (079-162-1177) までお問い合わせをお願い致します。

※「はんじょうくんブログ」に詳しく掲載しています。



豊事業部門
 企画部長 熊橋武彦

You Can Do It! ITービジネスの提案

インテリア業界最大の祭典として行われている第36回 JAPANTEX が去る11月15日(水)~17日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催され、主催事務局発表によると全体で41,576名(プレス登録除く)の登録来場がありました。

弊社は「You Can Do It」をコンセプトに、3年連続でデジタルプリン



You Can Do It! ▶▶

トエリアに出展し、新たに機器やコンテンツを導入いただいた際に広がるビジネスの可能性に焦点をあて、より前向きなご提案をさせていただきます。ブースでは、商品の展示とともにこの2年間で実際に導入いただいた事例をパネルにてご紹介しました。

【主な展示】

○オリジナルデザイン
プリント「いろはな」



当社オリジナルの和柄デジタルコンテンツです。200種類以上の図柄を取り揃えており、和柄のコンテンツの中でも高い意匠性を誇っています。

実際に現場で導入いただいた事例と同じものを壁面に貼って展示、壁紙や化粧シート等にご覧いただきました。「自分のインテリアデザインに取り入れたい」「コンテンツを使って新たな商品を開発したい」そういった声をいただきました。

○HP Latex(プリンター)

溶剤を含んでいない「HP Latexインク」を使用するプリンターです。メディア印刷の実演を行い、発色が良い、臭いが発生しない、擦過性に強い等の特徴を体感いただきました。



○ラッピングB

壁紙に糊を塗布した後、糊が乾かないように保護フィルムを裏面に貼り付け、巻き取ることができる機械です。すぐに貼ることができる生糊付壁紙を作ることができ、内装工事店の方々をはじめ多くのご来場者から注目を集めました。



○ラミネート加工機
ラミ☆スター

ラミスターシリーズのホットアシスタタイプを展示。実演も行い、ラミネートの仕上がりや操作性を体感いただきました。



また、デジタルプリントエリアでは昨年に引き続き、弊社の代表取締役社長 頃安雅樹による講演も開催され、多くの方にデジタルプリントの可能性を感じていただきました。



この度はKYOKUTOブースへお立ち寄りいただき誠にありがとうございました。ございました。

JAPANTEX 2017ホームページでは開催時に撮影された各ブースのPRなども配信させていただきます。併せて、ご覧ください。
<http://japantex.jp/>

インテリア事業部門

木村 一紀



「設計ツールの変化」

我々研究開発本部では、現在3DCADの運用を進めています。図面を描くツールとして、ドラフターから2DCADが導入されたのが約30年前で、複雑な構造であっても非常に設計しやすくなりました。

3DCADは、コンピュータ上でXYZの立体モデルを作成することが出来るものです。視覚的にわかりやすい状態で表現されるので、設計部門ではない人やお客様でもイメージしやすくなりますので、より意図を伝えやすくなります。

しかし、CADはあくまでも設計者にとっては道具でしかありません。アイデアやイメージを表現する道具がいくら便利になっても、設計には発想力や工学知識が必要であり、当社にとって成果物はあくまでも完成された装置であることを念頭に運用を進めていきます。

研究開発本部

部長 石井 雅章